

平成 19 年度 男女共同参画協働事業

「Becoming Leaders ワークショップ応用研究」  
報告書

平成 20 年 3 月 31 日

日本女性技術者フォーラム

(通称:JWEF)

## 目次

1. 事業概要
  - 1-1 目的
  - 1-2 事業計画
2. 実施内容
3. 結果
  - 3-1 第1回目(企業向け)
  - 3-2 第2回目(一般向け)
  - 3-3 ワークショップの実施の様子
4. 考察
5. 今後の課題
6. 研究実施者
7. 謝辞

資料 1. 広報用チラシ

資料 2. ワークショップ アンケート

資料 3. 付録

第1回目 ワークショップ時の参加者記載のポストイット記録

第2回目 ワークショップ時の参加者記載のポストイット記録

## 1. 事業概要

---

別途契約の「Becoming Leaders ワークショップ2007」(一般向け、企業内向け)での成果をベースに、各種調査・分析を踏まえた研究成果を報告書としてまとめ、川崎市男女共同参画センターの今後の再就職支援、事業所支援事業の一助とすることを目的とする。

### <Becoming Leaders ワークショップ2007事業概要>

#### 1-1、目的

女性たちがお互いのキャリアアップの現状・イメージ・実施プランなどをグループで話し合い、問題点などの共通認識を示すことにより自らの意識を確認し、方向性へのヒントを得ることをめざしたワークショップを実施する。

ワークショップは以下の2種類を実施する。

##### 1) 一般向けワークショップ

キャリアアップを考えている社会人女性、また再就職希望の主婦などを対象とする。

##### 2) 企業内向けワークショップ

キャリアアップの問題点を明らかにする研究的な目的を加えた内容で企業に所属している女性を対象とする。

#### 1-2、事業計画

| 日程  | 内容                |
|-----|-------------------|
| 10月 | 事業開始              |
| 11月 | ワークショップ日程および内容打合せ |
| 12月 | 広報チラシ作成・配布        |
| 1月  | 1回目ワークショップ準備および実施 |
| 2月  | 2回目ワークショップ準備および実施 |
| 3月  | アンケート分析・まとめ       |

## 2、実施内容

以下の内容でワークショップを行う。

参加者は5名以下のグループに分かれ、JWEFメンバーがファシリテータとしてグループディスカッションを円滑に進める。

|             |      |  |
|-------------|------|--|
| 00:00-00:10 | 担当 A | <p>イントロダクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JWEF の紹介</li> <li>・ 非常口など事務連絡</li> </ul>   |
| 00:10-00:25 | 担当 B | <p>Q1 あなたの上司はどうしてリーダーになれたのでしょうか？</p> <p>* 上司がいない人は、地域活動のリーダー等を考えてもらう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質問用紙を配布して、各自記入する(2分)</li> <li>・ グループ内で自己紹介と自分の意見を言う</li> <li>・ 書記がポストイットに書いて、A3用紙に貼る</li> <li>・ 話し合っ、3点に絞る</li> <li>・ 発表者を決める</li> </ul> |
| 00:25-00:35 | 担当 B | <p>Q1 の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループ発表者がそれぞれ発表する(各2分)</li> <li>・ Bさんはコメント、まとめ、質問2へつなぐ(3分)</li> </ul>  |
| 00:35-00:45 | 担当 C | <p>Q2 あなたは、あなたの上司のようなリーダーになれますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質問用紙を配布して、各自記入する(2分)</li> <li>・ グループ内で自己紹介と自分の意見を言う</li> <li>・ 書記がポストイットに書いて、A3用紙に貼る</li> <li>・ 話し合っ、3点に絞る</li> <li>・ 発表者を決める</li> </ul>                                     |
| 00:45-00:55 | 担当 C | <p>Q2の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループ発表者がそれぞれ発表する(各2分)</li> <li>・ Cさんはコメント、まとめ、質問3へつなぐ(3分)</li> </ul>   |
| 00:55-01:05 | 担当 D | <p>Q3 「これから自分がすべきことや、なりたい自分を書き出しましょう ①10年後、②3年後、③半年以内」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質問2の裏面記入欄に各自記入する(2分)</li> <li>・ グループ内で自分の意見を言う</li> <li>・ 書記がポストイットに書いて、A3用紙に貼る</li> <li>・ グループまとめと発表はしない</li> </ul>                                   |
| 01:05-01:15 | 担当 E | <p>全体まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まとめコメント「書いて言ったことは実現する！」</li> <li>・ 参加者の感想を聞ければ聞く</li> <li>・ 参加者アンケートを配布して、記入してもらう</li> </ul>   |
| 01:15-01:30 |      | 予備   |

### 3. 結果

#### 3-1. 第1回目（企業内向け）ワークショップ

(1)実施日時

平成20年1月19日(土) 13:30-15:00 (1時間半)

(2)場所

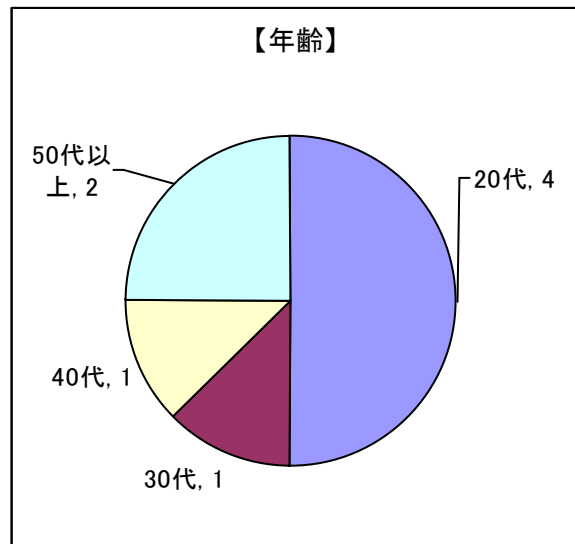
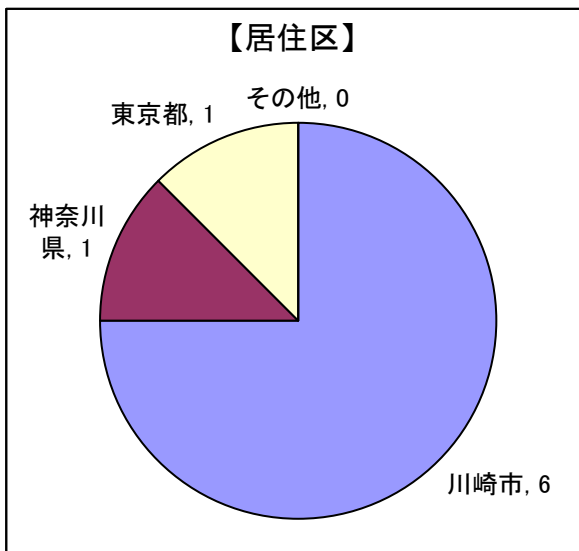
川崎市男女共同参画センター(すくらむ21) 第1・第2研修室

(3)対象

川崎市周辺地域の企業・地域団体に所属する女性

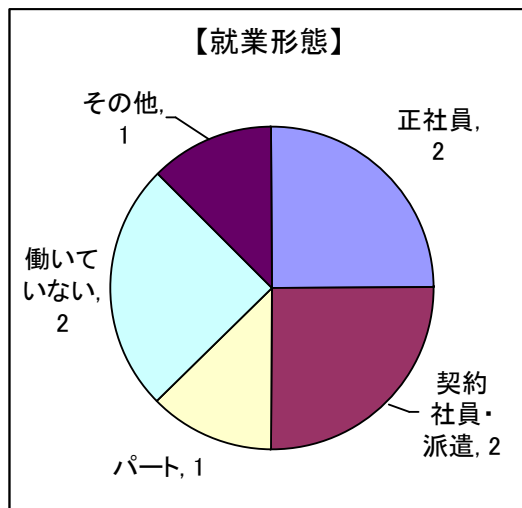
(4)参加者数

女性 8名



<市内の参加者の内訳>

| 宮前区 | 高津区 | 麻生区 | 幸区 | 多摩区 |
|-----|-----|-----|----|-----|
| 2   | 1   | 1   | 1  | 1   |

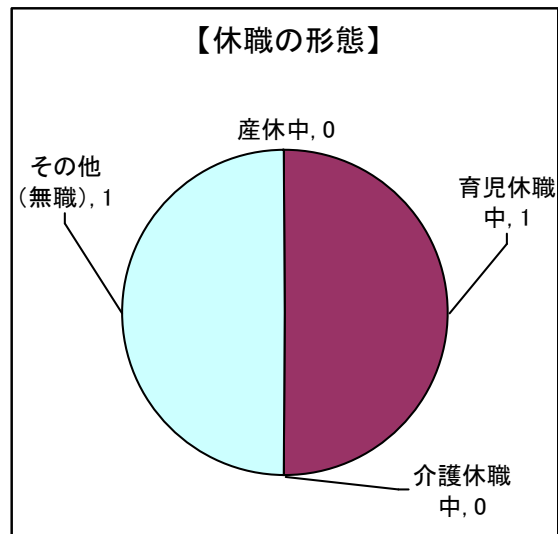
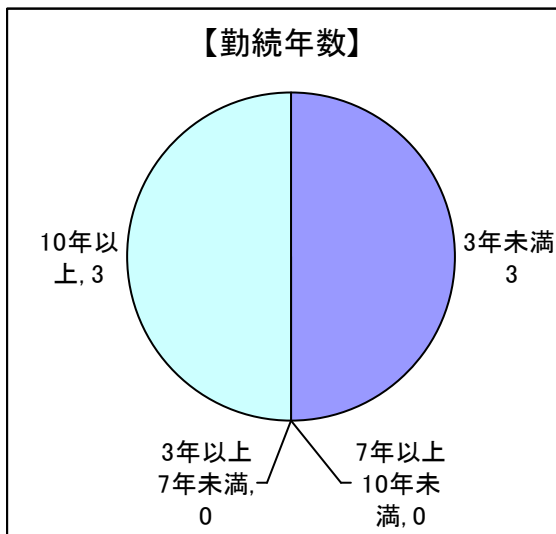


※注1

契約・派遣社員のくくりでは、契約社員1名を含む。

※注2

その他の1名は、自営業の方



(5) 参加者の感想

【アンケート結果 ※アンケート用紙は参考資料②参照】

|           |  |   |   |  |  |
|-----------|--|---|---|--|--|
| <b>Q1</b> | <b>このワークショップを何でお知りになりましたか？</b>                         |   |   |  |  |
|           | a すくらむHP   | 0 |   |  |  |
|           | b チラシ  | 7 |   |  |  |
|           | c JWEF HP  | 0 |   |  |  |
|           | d その他  | 1 | ・紹介   |  |  |
| <b>Q2</b> | <b>参加しようと思われた理由をお教え下さい。</b>                            |   |   |  |  |
|           | a キャリアについて考えたい   | 4 |   |  |  |
|           | b 時間の都合がよい   | 1 |   |  |  |
|           | c 面白そうだった  | 2 |   |  |  |
|           | d その他  | 1 | ・子育てと仕事の両立で悩んでいたから。   |  |  |
| <b>Q3</b> | <b>参加されていたいかがでしたか？</b>                                 |   |   |  |  |
|           | a 期待通り   | 5 |   |  |  |
|           | b 期待とちがった  | 2 | ・現場一本でやりたく、キャリアアップを望んでいなかったの。<br>・期待以上だった。  |  |  |
|           | c どちらともいえない  | 1 |   |  |  |
| <b>Q4</b> | <b>ワークショップの成果は生かせそうですか？</b>                            |   |   |  |  |
|           | a 生かせる   | 7 | ・5年後、10年後を考えるきっかけになりました。<br>・書くことでスッキリしてきたこと。参加者の方々の仕事の話聞き、励まされたこと。人と話すことって、大きいですね！ |  |  |
|           | b 生かせない  | 0 |   |  |  |
|           | c わからない  | 1 |   |  |  |
| <b>Q5</b> | <b>その他ご意見がありましたらお書き下さい。</b>                            |   |   |  |  |
|           | ・キャリアを考えるととても良い参考になりました。                               |   |   |  |  |
|           | ・子育てと仕事を両立されている人の話(講座?ワークショップ?)があるといいです。               |   |   |  |  |
|           | ・いろいろな方の意見が聞けて、とても楽しかったです。働き続ける事に不安を感じていたの、心がすっきりしました。 |   |   |  |  |
|           | ・自分の今後を考える良い機会になりました。                                  |   |   |  |  |
|           | ・もう少し時間が長くあったらよかったと思うぐらいです。また参加したいです。                  |   |   |  |  |

参加者アンケートの結果より、参加動機である「キャリアについて考えたかった(4名)」、「面白そうだったから(2名)」、「子育てと仕事の両立に悩んでいたから(1名)」に対して、「期待どおりだった(5名)」「期待以上だった(1名)」ことがわかった。また7名が「今回のワークショップの成果を生かせる」と回答している。

特に5年後、10年後の自分を考えてみることに書き出してみること、声に出して言うこと、他人の考えを聞いて刺激を受けることが有意義と感じてもらえたようだ。また講師の話を受動的に聞く形式と異なり、全員が参加するというワークショップ形式が「楽しかった」という回答につながっていると思われる。

### 3-2. 第2回目（一版向け）ワークショップ

(1)実施日時

平成 20 年 2 月 3 日(日) 10:30-12:00 (1 時間半)

(2)場所

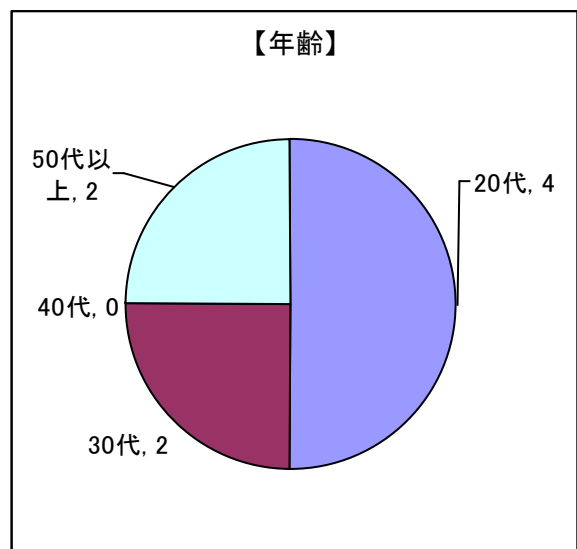
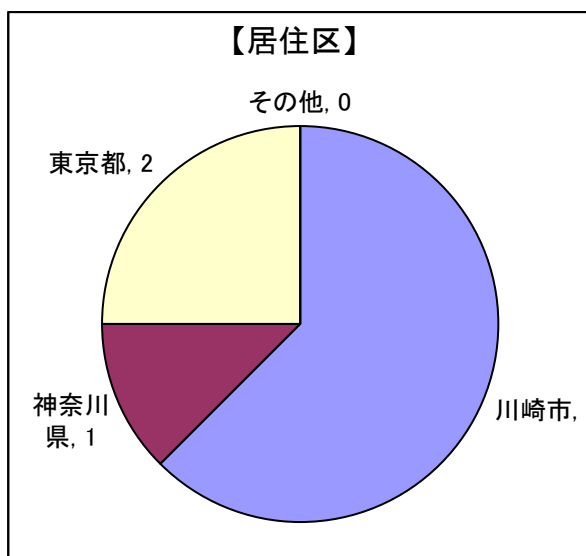
川崎市男女共同参画センター(すくらむ21) 第 4 研修室

(3)対象

一般

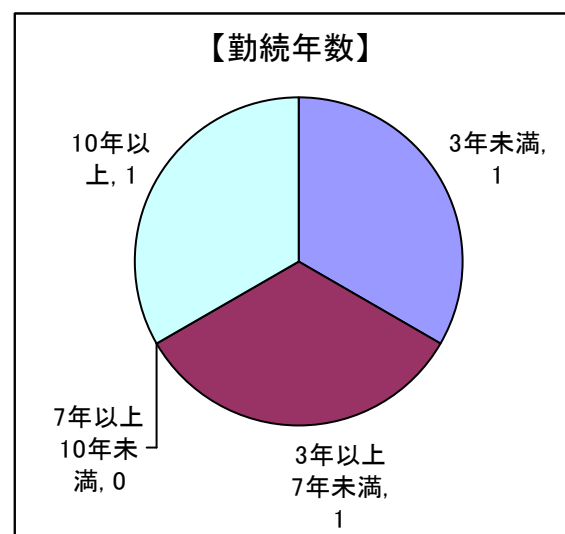
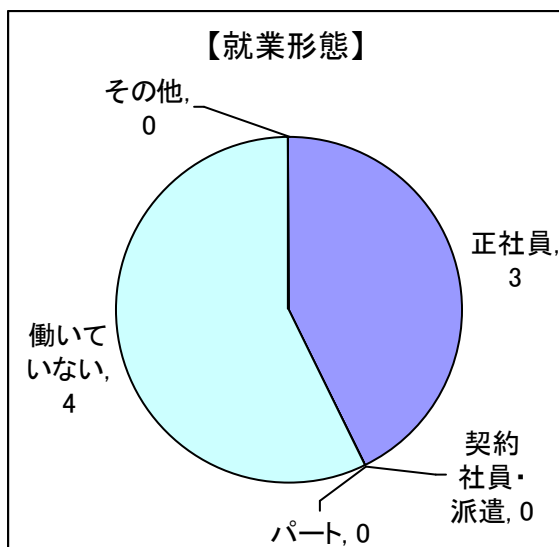
(4)参加者数

8 名(女性 7 名、男性 1 名)



<市内の参加者の内訳>

| 宮前区 | 高津区 | 麻生区 | 幸区 | 多摩区 |
|-----|-----|-----|----|-----|
| 0   | 0   | 0   | 1  | 4   |





(5)参加者の感想

【アンケート結果 ※アンケート用紙は参考資料②参照】

|                                   |              |   |   |  |  |  |  |
|-----------------------------------|--------------|---|---|--|--|--|--|
| <b>Q1 このワークショップを何でお知りになりましたか？</b> |              |   |   |  |  |  |  |
| a                                 | すくらむHP       | 2 |   |  |  |  |  |
| b                                 | チラシ          | 3 |   |  |  |  |  |
| c                                 | JWEF HP      | 1 |   |  |  |  |  |
| d                                 | その他          | 2 | ・当日会場でチラシをもらって、誘われた   |  |  |  |  |
| <b>Q2 参加しようと思われた理由をお教え下さい。</b>    |              |   |   |  |  |  |  |
| a                                 | キャリアについて考えたい | 3 |   |  |  |  |  |
| b                                 | 時間の都合がよい     | 1 |   |  |  |  |  |
| c                                 | 面白そうだった      | 1 |   |  |  |  |  |
| d                                 | その他          | 3 | ・妻に呼ばれた<br>・アルバイトとして参加予定だった   |  |  |  |  |
| <b>Q3 参加されていかがでしたか？</b>           |              |   |   |  |  |  |  |
| a                                 | 期待通り         | 4 | ・新しい発見がありました・いろいろな人と語り合えた   |  |  |  |  |
| b                                 | 期待とちがった      | 2 | ・もっと込み入ったディスカッションができると思っていたが割りと浅かった<br>・お手伝いという感覚でいたが、ものすごく楽しくて充実した時間で、自然と自分自身ものめりこんでいた   |  |  |  |  |
| c                                 | どちらともいえない    | 2 | ・何もわからず参加したが、いい刺激になった   |  |  |  |  |
| <b>Q4 ワークショップの成果は生かせそうですか？</b>    |              |   |   |  |  |  |  |
| a                                 | 生かせる         | 8 | ・自分に足りないものに気づけた<br>・半年後、3年後といった具体的な目標ができたから<br>・将来の自分を改めてイメージできた<br>・就職活動中の身としては、自分をみつめ、他の人の意見を聞き吸収できる場であったから<br>・これから半年、3年、10年のビジョンを持っていけそう<br>・やっと迷いから抜け出せた感じでした。ありがとうございました。 |  |  |  |  |
| b                                 | 生かせない        | 0 |   |  |  |  |  |
| c                                 | わからない        | 0 |   |  |  |  |  |
| <b>Q5 その他ご意見がありましたらお書き下さい。</b>    |              |   |   |  |  |  |  |
|                                   |              |   | ・とても充実でした   |  |  |  |  |

参加者アンケートの結果より、参加動機である「キャリアについて考えたかった(3名)」、「面白そうだったから(1名)」に対して、「期待どおりだった(4名)」「期待以上だった(1名)」ことがわかった。

また8名全員が「今回のワークショップの成果を生かせる」と回答している。その理由として、3年後、10年後という将来の自分を具体的にイメージできたことがよかった、新しい発見・自分に足りないものをみつけた、他の人の話を聞いてよかったなどが挙げられている。

### 3-3. ワークショップの実施の様子



#### 【開始までの流れ】

意外性と楽しさを演出するため、参加者の皆様はまず入り口で、座席決めのためのくじを引いてもらう。布袋に手を入れて、出てくるのは「あめ」。あめの色で所属グループを決める。



#### 【進め方に関して】

JWEF 担当者からワークショップ参加者にはじめに会の進め方の説明を行った。

#### 【ワークショップの場面】

進行は、JWEF の現役の女性技術者がファシリテーションしていく。自己紹介の中にもたくさんのエピソードをもちこんでワークへ促した。



#### 【ワークショップの場面】

各グループでの討議を発表した。参加者主体で進行していくため、参加者各自の決意表明も織り込まれている。まとめはJWEF 会員が行う。





**【グループでのワーク実施場面】**

各グループに分かれ、自分の将来について各自考えを纏める。グループごとにJWETFのメンバーがサポーターとして加わった。



**【参加者によるグループ発表】**

グループの代表者が自分のグループ内で出た意見、考えを発表する。  
全体の纏めは、JWETFが担当する。



**【振り返り】**

JWETF 会員と主催者との反省会。  
ワークショップ実施が参加者にとって有意義であったかどうか、進め方などの特色を整理し、検討をしました。

## 4. 考察

---

当初計画では、1回目(企業向け)と2回目(一般向け)を比較する予定であったが、そもそも企業向けと題した1回目においても、企業・団体といった組織内でキャリアアップを考える女性参加者を集めることは困難だった。広報の方法にも工夫の余地はあるが、働く女性の勤務形態自体が自営や派遣社員など多様であることに改めて気づかされる結果となった。しかしながら、1回目は土曜日の午後の講座に「キャリア」を意識して自ら申し込んだ女性たちの集団、2回目は「すくらむまつり」の1講座として雪という悪条件の下で行われ、事前申込み2名以外は大学生と当日参加のご夫婦でそれほどキャリアを意識していない集団という違いが出た。

結果としては、いずれの集団においても、参加者の期待に十分応える講座となった。その要因として以下の点を挙げたい。

### (1) 全員が参加者であること

JWEFの発問者を含めて全員が参加者であり、同じレベルで話をする。講義受講形式では、どうしても講師が上に立つイメージを持ってしまいがちだが、今回のワークショップでは、全員が同じように自己紹介から始めて、年齢・経験問わずに正直に自己を語りあうことが効果的である。また少数グループに分かれるので、必ず全員が発言・発表する。すなわち参加せざるを得ない状況になっている。参加度合が高まるほど、充実感が高まるのである。

### (2) 短い時間で作業すること

参加者アンケートに「時間が足りなかった」「もっと深い話をしたかった」という感想があった。これこそ集中できた証である。もちろん2分、3分といった短時間で考えた回答が完璧とは限らない。しかしメリハリをつけて、この3つの質問を仕上げることで、その後に自分で深く考えるために十分なきっかけになっている。

### (3) 10年先を考える

質問3は「半年後、3年後、10年後の自分を描く」とした。最も遠い将来は「研究や事業計画と同様の5年後でよい」という意見もあったが、あえて10年後とした。特に出産や家族の事情によって不確定要素を抱えがちな女性にとって、10年という長期展望を持つことが重要だと考えたからだ。とかく女性は、そうした周囲の不確定要素を気にして、短期的に結果を出そうとあせってしまう傾向があるが、10年という長期を考えて本当に自分がしたいことは何かを考えてもらいたかった。これは企画者の意図どおり、効果的に働いたと考える。特に育児休業中の参加者には、大いに励みになったようだ。また近い将来のことは、どうしても現実を省みて保守的な発言になってしまうが、10年先ということで現実にとらわれない思い切ったイメージを作れるのも良い点である。

### (4) 書く・言う

頭の中で考えるだけでなく、文字に書いてみることで、更に声を出して言うことは、夢を現実にする第一歩である。その意味で、初対面の他人同士で話し合うことが効果的である。性別、経歴、年齢、職場や家庭環境など異なる人々の意見に触れて、参加者全員が新鮮な驚きと刺激を与え合い、新たな自分に気づく。これがワークショップの何よりの醍醐味である。

#### (5)ファシリテータすべてがメンターという構成

このワークショップは「実践リーダーをめざす人の仕事術(メアリー・ウィリアムズ キャロリン・エマーソン 著)」をベースに構成されている。ワークショップは女性のキャリアアップのために自分自身を含めた個人や組織が行うことのできる実際の現実的なアクションとは何かということを示すために開発されたものである。誰もがリーダーになりうる資質を持っていることを強調し、自分のキャリアの各段階で成功を収め、そのやり方を他の人々に示し、周囲に影響を及ぼしていくことによって、その人のリーダーシップが育つのではないかとの考えがベースとなっている。

そのため本ワークショップでは、複数のファシリテータが、自分自身を振り返り、語りながら進行していく。将来を展望する力(Vision)、価値を見極める力(Value)、そして勇気(Courage)というリーダーとして持つべき資質を意識した内容の語りをふんだんに盛り込んで一つ一つのワークへの取り組みを参加者に促す。それは、ファシリテータ自身の潜在的なリーダーシップを発揮するだけに留まらず、参加者にとってメンターとしての役割を担っていたといえる。なぜなら、企業等組織における管理職として活躍中の女性としての経験や情報、出産、子育てを経験しながら働き続ける女性としての経験、そこには明文化されない組織ルールや知識、情報が個人的な体験や見聞きした複数の情報として一人ひとり自分の言葉で参加者に伝達されていたからである。メンターとは、あるテーマについて経験や情報を持っていて、アドバイスやサポートをすることができる存在であり、このワークショップの一つの大きな特徴として複数のメンターとしてのファシリテータの存在があげられる。

## 5. 今後の課題

---

参加者の満足度が高いために、各回とも参加人数が少ないことが残念であった。広報の方法に工夫が必要である。

今回はキャリアアップをめざす若手向けの内容であったが、更に女性リーダーを育てる経営層向けなど、他のワークショップも開発・実践していきたい。

## 6. 研究実施者(五十音順)

---

### 【JWEF メンバー】

出浦淑枝

カンギョウビ

下河原理江子

白井亜矢子

関根真理奈

田頭直子

瀧澤由美子

守屋朋子

## 7. 謝辞

---

本研究実施にあたり、ワークショップ会場および広報の手配をしていただきました、すくらむ21職員のみなさま、およびワークショップで書記を務めていただいたみなさまに感謝いたします。

JWEFの活動そのものが男女がお互いの能力や行動様式を尊敬しあい、対等な関係で一緒に仕事をする社会を理想としています。JWEFメンバーはその理想を現実にするべく時間とエネルギーを費やし、活動をしています。



「簡単に、働き続けることをあきらめないでほしいから…」

# スッキリ！働き続ける女性のための 私が変わる ワークショップ。

募集中

一緒に考える、キャリアプランニングの第一歩！



特徴

現役で働く理工系分野の女性たちが、カナダで実践され続けている働く女性のためのワークショップを日本人向けにアレンジしました！

「今、産休、育休中。不安もあるけど、復帰したい！」  
「将来への漠然とした不安や迷いがある。スッキリして働きたい！」  
そんな「働いている女性」、「これから働きたい女性」に贈る、  
キャリアプランニングの第一歩となるワークショップ。

【内容】 シンプルな3部構成です。

- ①あなたとあなたの周りの人との関係を見つめる
- ②あなた自身を見つめる
- ③これからのビジョンについて考える

【対象】 川崎市内在住もしくは、市内在勤の就業中の女性の方 先着20名  
(育児休職中、産休中の方も大歓迎です。)

※注意：対象者は、理工系分野に限られませんので、あらかじめご了承下さい。

【保育】 あり 10名(先着順) 1歳～就学前まで

(※就学後の保育をご希望の場合は、お問合せ下さい)

日時 **1/19** (土)  
13:30～15:00

場所 **すくらむ21** 第1・第2研修室

本事業は、日本女性技術者フォーラム(通称:JWEF)メンバーが主催します。JWEFは、女性技術者相互の交流と情報交換により、その能力を発揮することのできる場を創出し、女性技術者の社会的貢献を高める目的で1992年に創設されました。

▼ホームページ

<http://homepage3.nifty.com/iwef/index.html>

**わたしが変わるワークショップ参加アンケート**

本日はご参加くださりましてありがとうございました。

今後のワークショップをさらに充実したものとするために、アンケートにご協力下さい。

**1. このワークショップを何でお知りになりましたか？**

- a) すくらむ21ホームページ b) チラシ c) JWEEFホームページ  
d) その他 ( )

**2. 参加しようと思われた理由をお教え下さい。**

- a) キャリアについて考えたいと思ったため b) 時間の都合が良かったから  
c) 面白そうだったから d) その他 ( )

**3. 参加されていかがでしたか？**

- a) 期待通りだった b) 期待と違っていた c) どちらとも言えない  
その理由は・・・？

**4. ワークショップの成果は生かせそうですか？**

- a) 生かせる b) 生かせない c) どちらかわからない  
その理由は・・・？

**5. その他ご意見がありましたらお書き下さい。**

お答え下さった方は\*\*\*

性別は・・・ a) 女性 b) 男性

お住まいは・・・ a) 川崎市在住 ( ) 区 b) 神奈川県 c) 東京都 d) その他の地域

年齢・・・ a) 20歳代 b) 30歳代 c) 40歳代 d) 50歳代以上

お仕事は・・・ a) 正社員 b) 派遣 c) パートタイム d) 現在仕事をしていない

(お仕事をされている方にお尋ねします)

勤続年数・・・ a) 3年未満 b) 3年以上7年未満 c) 7年以上10年未満 d) 10年以上

(現在お仕事を休みされている方にお尋ねします)

- a) 産休中 b) 育児休職中 c) 介護休職中 d) その他 ( )

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。